

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 令和2年3月22日

事業所名: 子育てサポート ふれ・しゅーれ

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保		○		限られた空間ではありますが、利用状況に合わせて工夫を使っています。	100%					
	2 職員の適切な配置		○		職員の半数がパート職員のため、人数が十分ではない日と感じる日があります。	88%			12%		
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がい者の特性に応じた設備整備		○		子どもさんが多い日は、個々に過ごせる空間がもう少しあればと思います。	100%					
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保		○		心地よく過ごせる空間であるために、静かな環境が提供できればと感じています。	100%					
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画		○								
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施			○							今後、検討していきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保		○								
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成		○			100%					
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載		○			100%					
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成		○								
	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施		○			100%					
	5 チーム全体での活動プログラムの立案		○								
	6 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施		○			78%	11%		11%	本人が好きな活動が何かを、職員がよく質問してくれます。	
	7 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援		○								
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底		○								
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化		○								
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施		○								
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し		○								
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画		○								
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施										
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備										
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有		○			訪問を行ったり、支援の状況を伝達するための書類を作成したりして共有をしています。					

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 令和2年3月22日

事業所名: チャレンジスクール えーる+

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価			評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	はい	どちらともいえない	いいえ		わからない
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保		○		限られた空間を有効利用できるよう工夫しています。	50%	17%	33%	
	2 職員の適切な配置	○				67%	8%	25%	
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	○				75%		25%	
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	○				83%		17%	
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	○							今後、検討していきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施			○					
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	○			研修の機会が多い職場だと感じています。				
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	○				100%			
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	○				100%			
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	○							
	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	○				100%			
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	○							
	6 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	○				75%	17%	8%	
	7 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	○							長期休暇の過ごし方については現在検討しているところです。ご本人やご家族にとって有用な時間となるよう考えています。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	○							
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	○							
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	○							
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	○							
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	○							
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施								
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備								
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	○			今はご家族を介して共有していることが多いです。				必要に応じて学校を訪問したり、先生方と連絡を取り合ったりして情報を共有をしています。

